安威川ダム　第６３回岩盤判定会議　議事要旨

日　　時：平成３１年４月５日（金）　１４：００ ～ １６：１０
場　　所：安威川ダムJV事務所　会議室
出 席 者：別紙「出席者一覧」のとおり
資　　料：第６３回 岩盤判定会議資料 (別冊資料含む)
検査対象：＜地盤検査＞
非常用洪水吐き流入部～導流部：非 No.-2+19.5～非 No.-3+10
ロック敷き左岸下流部　　：①No.15+8～No.15+18、DC+92～DC+129
②No.15+9～No.15+15、DC+53～DC+88

主な指摘事項（地盤検査の記録に掲載するもの）

（ロック敷き左岸下流部）
- No.15+11～18 付近の F-4 断層沿いにおいて、CLh 級岩盤に D 級岩盤が薄く付着しているため、下盤側に対して直角になるよう切削除去を行うこと。
- 表面の風化が速いため、盛立前に風化によって生じた屑は適切に除去すること。

（非常用洪水吐き流入部～導流部）
- 「A3－R」と「A4－R」のブロック境界上には、F-13 断層および F-6 断層沿いのＣＬｌ級～Ｄ級岩盤が分布しており、止水板が機能しない可能性がある。止水板を堅岩部に岩着させるよう、ブロック境界を上流側に２ｍずらし、止水機能を確保すること。
- ブロック範囲が変更となった「A3－R」および「A4－R」については、変更後のブロック範囲で再度平均せん断強度を算出し、安全性を確認すること。

概　　要

〇前回議事要旨および是正報告資料に関する指摘事項
- 特になし。

〇資料に関する指摘事項
- 非常用洪水吐き部に分布するF-3断層については、法面上に分布しているため平面図に投影すると湾曲した走向の断層に見える。
誤解を与えないよう、この湾曲した走向については、「法面上に分布したことによるもの」と注釈を記載しておくこと。

〇現場における指摘・是正事項
（ロック敷き左岸下流部）
- No.15+11～18付近のF-4断層沿いにおいて、CLh級岩盤にD級岩盤が薄く付着しているため、下盤側に対して直角になるよう切削除去を行うこと。
- 表面の風化が速いため、盛立前に風化によって生じた屑は適切に除去すること。

（非常用洪水吐き流入部～導流部）

・打設ブロック境界に設ける止水板を強固な岩盤に敷設するため、「A３－R」と「A４－R」のブロック境界上に分布する、弱部を避けるべくブロック境界を上流側に２ｍずらす対策を行う。また、ブロック範囲が変更となった「A３－R」および「A４－R」については、変更後の範囲で再度平均せん断強度を算出し、安全性を確認すること。

・ブロック範囲が変更となった「A３－R」および「A４－R」については、変更後のブロック範囲で再度平均せん断強度を算出し、安全性を確認すること。

〇その他の意見

・非常用洪水吐き流入部～導流部に分布するF-6断層については、平面図上、３本に分断されているようにみえる。分断されているか、位置関係を含めて、断層の性状・幅等を整理し、その機構を確認しておくこと。

＜地盤検査官のコメント＞

本日の検査した非常用洪水吐き流入部～導流部および下流ロック敷き左岸下流部については所定の岩盤であることを確認した。

非常用洪水吐き流入部～導流部については、打設ブロック全体での安全率が4以上となることを確認するようお願いする。

また、指摘のあったものについても適切に対応すること。